

取組名	山口県や自分の住んでいる周辺地域の災害を知って、自分の身を守ろう		
特徴	県の「山口県災害教訓」と市の「ハザードマップ」を活用した安全教育の実施		
学校名	県立小野田高等学校	期日	平成30年2月15日(木)

1 ねらい

生徒が、身近に起きる災害や緊急避難場所等を知ること、防災意識や自分の命を守るための対応能力を高める。

2 概要

(1) 取組の流れ

本校では、これまで各種「避難訓練」や、「危機回避対応教室」を実施することにより、生徒のさまざまな危機対応能力を高めてきたが、生徒の在宅中を想定したものではなかった。

生徒に聞いてみても、自宅周辺の緊急避難場所さえ知らない現状も見えてきた。そこで、自分の住んでいる山口県や自宅周辺地域の災害情報を自ら調べ把握することで、より現実的で実効性の高い対応につながると考え実施することとした。

(2) 作業手順と方法

- ①事前に各自スマートフォンを準備
- ②スマートフォンで山口県の過去の災害を検索
- ③同じくスマートフォンで自宅周辺のハザードマップを調べ、災害時の危険度を知り、自宅から学校までの「緊急避難場所」を確認

その後、提出プリントの学校提出用のみを記入し、提出

(家庭確認用は自宅に持ち帰り、家族と話し合って改めて提出)

- ④最後に、学校での被災に備え、クラスの効率の良い「点呼方法」を決定

(3) 当日の流れ(※別紙指導案参照)

- 14:55 着席、スマートフォン準備
作業プリントの配付
- 15:00 放送開始
作業Ⅰ：山口県の過去の被害を知る
- 15:10 作業Ⅱ：ハザードマップを開いて、緊急避難場所を書き込む～プリント「提出用」を担当が回収～
- 15:25 作業Ⅲ：クラスごとの点呼方法を再考
- 15:40 終了



スマホで検索中



同じ地区の生徒同士で話し合い

3 成果と課題等

(1) 成果

この学習で、「自分の住む身近な地域でどんな災害が起こりうるかということ、また、在宅中や登下校中はどこに避難したらよいかなどを知ることができてよかった。」という生徒の意見が多く聞かれた。家庭で話し合ったことも家庭の防災意識を高める上で、大きな成果があった。また、学校としても、生徒の自宅周辺の避難場所を確認できたことで、大規模災害時の生徒の安否確認連絡場所を把握できることとなった。

(2) 課題

一斉に同じサイトを開いたため、中にはつながりにくく、作業がなかなか進まない生徒もいた。次回は改善策を考えたい。また、国や県、市町が発信しているこうした情報を、積極的に活用する教育に発展させていくことも大切であると感じた。

安全教育指導案

H30. 2. 15 (木) 7限

1 ねらい

本校生徒は、避難訓練を通して地震・津波等の対応はよく知っているが、実際山口県にはどんな災害が多いのか、また、自宅周辺地域の危険性や緊急避難場所については意外と知らない。そこで、身近に起きる災害や緊急避難場所等を知ること、防災意識や自分の命を守るための対応能力を高める。

2 作業

- (1) 山口県ではどんな災害が起きてきたかを知る。
- (2) 自宅周辺のハザードマップで、災害時の危険度を知る。
- (3) 自宅～学校の緊急避難場所を確認する。
- (4) クラスで効率の良い「点呼方法」を再度決める。

3 当日の流れ

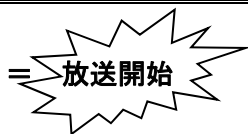
- 14:55 着席、スマートフォン準備。作業プリントの配布。
15:00 放送開始 作業Ⅰ：山口県の過去の被害を知る
15:10 作業Ⅱ：ハザードマップを開いて、緊急避難場所を書き込む
～ プリント「提出用」を担当が回収する ～
15:25 作業Ⅲ：クラスごとの点呼方法を再考する
15:40 終了

4 時系列指導内容等

14:55

担任は、生徒にスマートフォンを準備させ、電源ONにさせ、着席させる。
さらに、「作業プリント」を全生徒に配布する。

15:00



- ただいまから、安全教育を始めます。
- 今日はスマートフォンを使用しますが、準備はできていますか。
本時のねらい、生徒の作業内容について簡単に説明

15:01

- 本日の趣旨や目的がわかりましたか？命にかかわることですので、真剣な作業をお願いします。
- では、まず始めに、山口県での過去の災害被害について調べてみましょう。
- スマートフォンで、「山口県災害教訓」で検索してください。「山口県災害教訓」を検索するよう指示する。
- 開いたら、さらに「山口県の風水害」というPDFをクリックしてください。

15:02

- 少しスクロールして中身を見てください。山口県は昔から豪雨や台風による被害を頻繁に受け、被害が大きいものも多くあります。
- 近年では、平成11年台風による宇部空港水没、平成21年豪雨による山口・防府地区の大水害、平成22年豪雨による厚狭地区の水害、平成25年大雨による萩市水害などと、立て続けにありました。
- 体験談にもあるように、被害住民にとっては全く予期せぬ出来事でした。

15:06

- では、一旦その画面は消して、次に「山口県の地震・津波」というPDFをクリックしてください。
- 開いたら、まず、見出しのページを見てください。そこに書いてあるように山口県は地震による被害は比較的少ないのですが、平成9年には震度5強の、平成13年には震度4の揺れを観測しています。
- 今後、南海トラフ地震が30年以内に70%の確率で起こると予測されています。そのほか、安芸灘～伊予灘地震や、活断層による地震もいつ起こるか予測がつかない状態にあります。

15:09

- はい、では一旦画面を元に戻して、話を聞いてください。
(少し間をおいて)
- 今見たように、山口県においても、過去、風水害や地震によって、甚大な被害があったことが分かったと思います。今後も、いつ、なんどき起きるかわかりません。
- 共通して言えるのは何かあったら、「**率先避難者**」となるように努めることです。
この文言で、担任は黒板に「**率先避難者**」の文字を大きく書く。
(間を置く)
- そこで今日は、あなた方の、学校外での「避難場所」を確認していただきます。

15:10

- では、これからの作業について説明します。
- まず、「作業プリント」を見てください。プリントにある、避難場所の表を埋めてもらいます。
- 「提出用」と「家庭確認用」の両方に同じことを記入します。
- 完成したら切り離して、「提出用」は担任へ提出し、「家庭確認用」は自宅に持ち帰ります。
- 自宅に持ち帰った「家庭確認用」は、必ず家族で内容を確認し合ってください。そして、もし、内容変更がありましたら、その「家庭確認用」に朱書きで訂正し、再度担任へ提出してください。
- そのための作業手順は、これから担任の方から説明があります。では、担任の先生方宜しく願います。

《ここからは、担任が実施する。》

①スマートフォンで、自宅のある市の「緊急避難場所」のサイトを開かせる。

◎例えば、山陽小野田市の生徒は「山陽小野田市緊急避難場所」で検索、宇部市であれば「宇部市緊急避難場所」で検索するよう指示する。

(※注) それぞれの市で表示の仕方は違うが、避難場所と同時にハザードマップも表示されると思われる。災害時に自宅が水没したり、土砂災害警戒区域になっているかどうか確認させる。

②各自、その画面を見ながら、プリントの表の項目をそれぞれ埋めさせる。わからなければ、同じ地区の友達と相談しながら作業させる。

◎「登下校中」の欄は、登下校時の経路をたどらせながら、「家に近い時」「学校に近い時」「家と学校の間地点」にある避難所を記入させる。

③完成したら、切り離させて、「提出用」のみ担任が回収する。

15:25 に終了させる。

15:25

●では、やめてください。

●次に、前回の避難訓練で、クラスごとに「点呼方法」を考案し実践してもらいましたが、その時の検証もふまえ、再度「点呼方法」を考案する作業をおこないます。

●今日決める点呼方法が、今年度の災害等が起きた時の点呼方法となりますので、クラスでよく話し合い、全員一致の行動がとれるようにしておいてください。

●学級委員は前に出て、進行役をお願いします。

この文言で、担任は学級委員を前に出させ次の手順で行わせる。

⇒ **放送終了**

(1) 前回の「点呼方法」を確認させる。(前回どうやったかを確認)

(2) 前回の点呼方法について、数人を指名し、賛否の意見を発表させる。

(3) こうした意見を踏まえて、再度「点呼方法」を決定させる。

前回のままでよいクラスはそのまま。改善の余地があるクラスは新案を決めさせる。

15:40 終了。

家庭で確認！日頃からの備え【提出用】

大規模災害発生時の避難場所や連絡方法について、家族で確認しておこう！

自分が住んでいる地域で想定される災害は
【避難場所は？】

災害発生時の状況		避難場所
登 校 中	家に近い時	TEL:
	家と学校の間地点	TEL:
	学校に近い時	TEL:
家にいる時		TEL:

..... き り と り 線

家庭で確認！日頃からの備え【家庭確認用】

大規模災害発生時の避難場所や連絡方法について、家族で確認しておこう！

自分が住んでいる地域で想定される災害は
【避難場所は？】

災害発生時の状況		避難場所
登 校 中	家に近い時	TEL:
	家と学校の間地点	TEL:
	学校に近い時	TEL:
家にいる時		TEL: